

上映会のお知らせ (入場無料、要予約)

〈4月の上映会〉

- 「にいがた偉人伝③」【2017年/130分】
4月7日(木)・10日(日)13:30～
新潟の激動の時代を切り拓いた先人、10人の生涯を紹介します。(1月より延期した作品)
- 「ダブルシフト～パパの子育て奮闘記～」【2005年/スウェーデン/89分】
4月14日(木)・24日(日)13:30～
北欧発イクメン映画の決定版！遙かに進んだ子育ての考え方に感服です。

〈5月の上映会〉

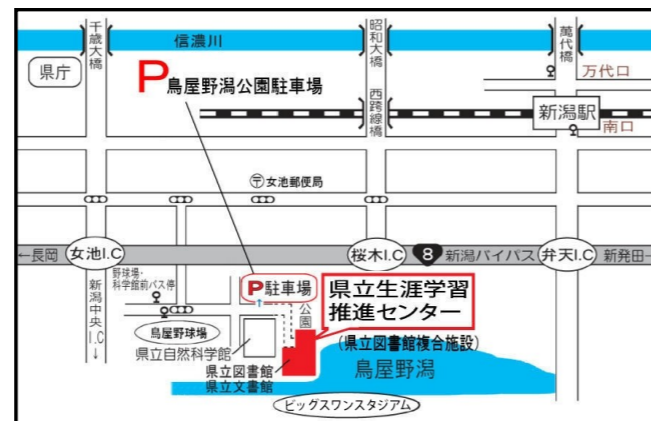
- 「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」【2012年/96分】(2月より延期した作品)
5月12日(木)・15日(日)13:30～
日本を代表する絵本画家いわさきちひろのドキュメンタリー作品です。
- 「いのちのあさがお」「小さな家族」【2000年/36分】 【1990年/55分】
5月19日(木)・29日(日)13:30～
家族の愛情を描いた作品を、二本立てで上映します。

LLPC(Lifelong Learning Promotion Center) book (推進センター所長)

「地域の教育力」って何？

2年前、佐渡の学校に勤務する機会を得て感じた「地域の教育力」の具体的な姿・・・
・漁港を舞台に、子どもたちが海や魚の大自然、そして、子ども数の倍以上の地域住民と触れ合う。
・学期末、1人の保護者が全校の子どもたちに声を掛け、子ども食堂を開く。また、習字のゲストティーチャーが年末年始、全校の子どもたちに声を掛け、寺子屋習字教室を開く。
・夏休みのラジオ体操で、2人の子どもの指揮で数十人の地域住民が体操する。また、別

の地域で1人の子どもの声掛けから、ラジオ体操が20年ぶりに復活し、地域住民と一緒に体操する。等々
こんな取組が当たり前のように行われる地域づくりを目指したい。一人一人の地域住民や保護者が、自分にできることで子どもや地域と関わっていく。そんな姿に一步でも近付けるよう現在求められているのが、「学校と地域・家庭との連携・協働」の促進。ぜひ「学校を核とした地域づくり」に向け、みんなで少しずつ関わっていきましょう！



新潟県立生涯学習推進センター
〒950-8602
新潟市中央区女池南3-1-2
TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
Mail:nlpc@mail.lalanet.gr.jp
Twitter:https://twitter.com/lala_nlpc/

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<https://www.lalanet.gr.jp/>

ラ・ラ・ネット 検索

生涯学習相談・情報提供

TEL:025-284-6119 FAX:025-284-6019
Mail: lalasoudan@mail.lalanet.gr.jp

施設等の貸出

生涯学習に関する機関・団体等へ施設・視聴覚教材の貸出を行っています。
貸出施設:ホール 大研修室
※3密を避けるため、現在利用定員を制限しています。(ホールは63人まで 大研修室は45人まで)
(視聴覚教材・機材の貸出しは原則登録が必要です。)

生涯学習



生涯学習の学びを地域づくりにつなげよう

No.154
令和4年3月10日発行
県立生涯学習推進センター



基礎研修会



生涯学習基盤・地域づくりの拡充や推進のために必要な理論や実践を学び、社会教育関係職員等の資質向上を図ることを目的に4回シリーズで実施します。

午前は、演習を軸にして、「地域づくり」のためのリーダーシップ、人材育成、業務改善等について学びます。

午後は、今求められている社会教育の在り方、社会教育行政と市民協働、グラフィックレコーディングのスキルと活用方法等について学びます。

午後は、Zoomによるオンライン受講も可能です。

基礎研修会 2022
4月28日(木)START 5/11, 5/27, 6/9 4回シリーズ

対象: 生涯学習・社会教育関係職員、公民館・コミュニティセンター職員、公民館・市民センター職員、公民館・市民センター職員、公民館・市民センター職員、公民館・市民センター職員

時間: 10:00～16:00 (昼食時間: 12:00～13:00)

申込み方法: 申込書(別紙)を提出するか、電話(025-284-6110)でお申し込みください。

参加費: 無料

定員: 45名 (オファイン30名)

申し込み締切: 4月20日

お問い合わせ: 025-284-6110

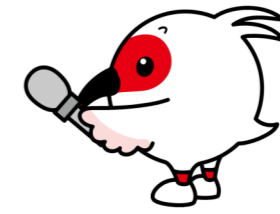
若者主体

Owl Mix Live NIIGATA 3rd

若者が主体的に社会教育活動に参加・参画するプロジェクト「Owl Mix Live NIIGATA」が、3月19日に開催されます。「ニーズ・実態の把握」「企画・立案」「広報活動」「会場設営」「当日の運営」「評価・検証」の全てを若者が行う活動です。

<第3回目>

- ◆日時: 3月19日(土) 14:00～15:30
- ◆イベント名: カタリバトロ
- ◆内容: 大学生と中高生の交流
 - ① 大学生生活の実態
 - ② 大学生生活の楽しみ方
 - ③ カードゲーム(ポーカー)対戦



～現役大学生の実態を届け！～
カタリバトロ
大学生と語ろう

「実際、大学って何ができるの？」
新潟大学の学生が、日常生活のリアルを語っちゃいます！！

by Owl Mix Live

3月19日(土) 20:00～23:00 県立図書館での自由のついでに是非！

参加費は無料です。お申し込みは、県立生涯学習推進センター(025-284-6110)までお申し込みください。

新潟県内の生涯学習取組事例集 (令和3年度版)

「新潟県内の生涯学習取組事例集」をラ・ラ・ネットにて公開しています。この事例集は県内の生涯学習関係機関から提供いただいた講座やイベントのチラシ情報や講師情報が掲載されています。ぜひ、御覧いただき、新年度に向けての講座の計画やチラシづくりの参考に御活用いただきますようお願いいたします。

過去の生涯学習取組事例集も掲載されています。御活用ください。

ラ・ラ・ネットトップページから入った場合はここをクリック。

生涯学習相談
生涯学習資料
新潟県内の生涯学習取組事例集
学習成果活用事例
体験活動等支援センター
アンケート

社会教育主事講習[B]を終えて

社会教育主事講習[B]「1月24日(月)～2月21日(月)」が、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター(主会場)と14の地方会場で実施され、全国で437名が受講しました。新潟会場は当センターを会場とし、14名が受講しました。山形県からも2名の参加がありました。新潟会場受講者の内訳は、4科目全て受講した方は7名、社会教育主事の資格取得者の学び直しの方6名(社会教育士の称号を得るために必要な新たな2科目の単位取得のため)、科目分割受講の方1名でした。

本年度も、新型コロナウイルス感染症禍であっても講習を継続・充実させるために、講義については、自宅・職場等でも受講できるインターネットによるライブ配信で実施されました。講義科目終了後は、新潟会場に集まり、三つの演習プログラムに取り組みました。演習プログラムの内容については以下の通りです。

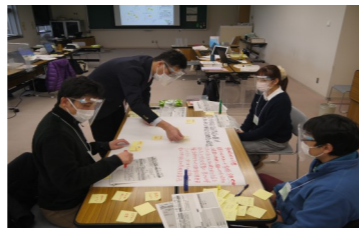
最初に生涯学習支援論の演習「参加型学習の実際とファシリテーション技法」について学びました。特定非営利活動法人みらいずworks代表理事である小見まいこ様より講師を務めていただき、受講者は30分のファシリテーション展開プログラムを作成しました。その後、作成したプログラムにより、全ての受講者がファシリテーターを経験しました。

次に社会教育演習「シンポジウム」を実施しました。講師には、社会教育主事有資格者で各地域で社会教育に携わり、経験豊富な3名

- ・上越市教育委員会名立区分室教育・文化グループ長 沢田 繁 様
- ・見附市まちづくり課事業係中央公民館副主幹兼業務係長 長谷川裕恭 様
- ・村上市教育委員会生涯学習課主査 山田 浩介 様

をお招きし、「社会教育主事有資格者及び社会教育士の職務の実際」をテーマに、講師の方の実績や経験、事例発表等を聞き、質問や意見交換等を行いました。

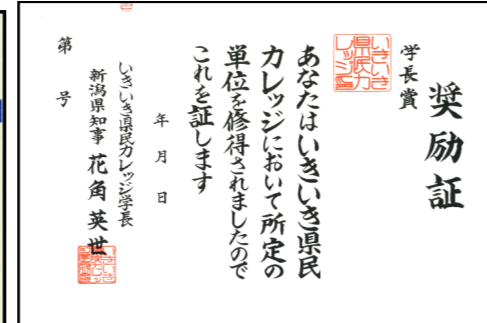
最後は、社会教育演習「事業計画立案の実際」で事業計画の作成を体験しました。社会教育計画の構造等を学んだ後、想定市町村の事業計画を約5日をかけ、グループで作成しました。意見を出し合い、完成後はその事業を説明する発表会を行いました。



本年度は、新潟会場ばかりでなく多くの地方会場が、講習期間に「まん延防止等重点措置」の対象地域となり、感染症対策に苦労しながらの実施でした。来年度も、この時期に社会教育主事講習[B]を当センターで開催予定です。新型感染症が収束し、マスクやフェイスガードをつけなくても講習が実施できることを願うばかりです。興味のある方は、県立生涯学習推進センターへお問い合わせください。

「いきいき県民カレッジ」

「いきいき県民カレッジ」は、平成4年度以降、多くの県民の皆様にさまざまな講座の受講をいただいております。令和3年度も新型コロナウイルス感染症が流行する中ではありましたが、多くの方が「県民カレッジ」で、学びを進められました。「いきいき県民カレッジ」では、受講手帳にスタンプをためることにより、学長(県知事)名の入った奨励証も授与されます。現在、次年度講座に向けて申し込みが始まりつつあります。ぜひ、新年度から「いきいき県民カレッジ」登録講座の受講を御検討ください。



令和3年度 新潟県自作映像・視聴覚教材コンクール ★審査結果のお知らせ★

令和3年度新潟県自作映像・視聴覚教材コンクールの審査結果をお知らせします。43点の応募がありました。(敬称略・画像は作品の一部を当センターで画面キャプチャしたもの)

《社会教育・地域映像部門》

応募作品14点

【最優秀賞】

『越後平野に川(放水路)を拓く』
(映像・約30分)



【優秀賞】

『満州柏崎村の軌跡』
(映像・約17分)

《学校教育部門》

応募作品7点

【最優秀賞】

『第一次世界大戦が始まった理由と大戦の様子を理解しよう』
(映像・約12分)

第一次世界大戦 World War I

この動画のおさらい

- ・第一次世界大戦は植民地をもつ国ともたない国との戦争だった。
- ・もつ国を「協商国」、もたない国を「同盟国」という。
- ・大戦のきっかけは「サラエボ事件」といい、サラエボ周辺の「バルカン半島」は当時「ヨーロッパの火薬庫」とよばれていた。
- ・第一次世界大戦は「総力戦」体制で進んでいった。

【優秀賞】

『こわれた筆箱(特別の教科道徳B-2「正直、誠実」自作資料)』
(映像・約5分)
『一見悪徳に見えて、ただあいさつや手洗いを勧めているだけの先生たち』
(映像・約6分)

《児童生徒部門》

応募作品22点

【最優秀賞】

『飛渡川の自然を守ろう』
(映像・約7分)



【優秀賞】

『山古志レジェンドストーリー～先人たちが作り上げた山古志の魅力～』
(映像・約21分)
『居心地のよさって・・・』
(映像・約11分)

※各部門とも最優秀賞及び優秀賞以外は奨励賞です。

館内上映の許諾をいただいている応募作品については、過去の作品も含め当センター1階学習相談コーナーで視聴できます。



推進センター1階 学習相談コーナー